

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
L102	都市問題入門Ⅰ	1年	講義	2	西山弘泰
<p>授業概要</p> <p>都市問題入門Ⅰでは、都市で起こる諸問題の把握や解決策を学ぶ基礎的知識の習得、すなわち都市とはどのような性質をもち、かつ空間的広がりを持っているのかといった都市の本質について学んでいく。なお、本講義では教員からの一方的な講義ではなく、対話形式になるよう配慮する。また、写真や図表、地図などを多く用いるが、その資料から何が読み取れるのか、その都度受講生に発表してもらう。</p>					
<p>到達目標(学習の成果)</p> <p>都市の成立とその変化、そして現状について学ぶことで、都市問題入門Ⅱの基礎的視点、知識を習得する(DP2)。また写真や図表、地図などを読み解く力を養う(DP2)。</p>					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	都市の視角	都市はどのような構成要素から成立し、かつどのような視点で観察すればよいかを学ぶ			
2	都市と自然環境	都市の成立や人びとの生活には、地形や気候などの自然環境が大きく影響していることを学ぶ			
3	村落の形態	都市の起源でもある村落の形態やその役割について学ぶ			
4	都市の立地条件	都市が成立または発達する立地条件について学ぶ			
5	都市の発達史	時代の変化とともに都市の役割が変化しより複雑化していく過程を学ぶ			
6	都市の機能	都市によって機能や役割の違いがあることを学ぶ			
7	都市の階層	都市は規模や役割によって階層構造があり、それらが機能分化することで世界や地域が成立していることを学ぶ			
8	都市の内部構造	都市は場所によって機能や景観が異なり、それには一定の法則性があることを学ぶ			
9	都市の景観	地域の文化や歴史によって都市景観が異なることを学ぶ			
10	大都市への人口集中	戦後の大都市への人口増加の過程と社会的背景について学ぶ			
11	都市化と都市圏の形成	市街地の拡大過程を中心に東京大都市圏における都市化の展開について学ぶ			
12	都市の再集中化現象	都市中心部において再開発が進み減少していた人口が再び増加に転じる減少についてその要因とともに学ぶ			
13	創造都市	クリエイティブクラスが都市の発展に与える影響について検討する			
14	これからの都市像	東京オリンピックを2020年に控え東京の大改造が進む中でこれからの都市のあり方について考える			
15	まとめ	14回の講義の中で特に重要と思われる事柄に関して復習を行う			

準備学修(授業外の自己学修)

復習課題や予習課題を準備するので受講生は必ず取り組むこと

成績評価の方法・基準(%表記)

毎回授業中に行うワークシートの取り組み状況(50%)と期末試験(50%)によって判断する

観点	S	A	B	C
都市についての基礎的内容の理解	完全に理解している	ほぼ完全に理解している	十分に理解している	一定程度理解している
統計や地図, 写真等を通して都市の特徴を読み取る能力	完全に読み取ることができる	ほぼ完全に読み取ることができる	十分に読み取ることができる	一定程度読み取ることができる

教科書

なし。

参考書等

藤井正・神谷浩夫編著(2014)『よくわかる都市地理学』. ミネルヴァ書房

藤塚吉浩・高柳長直編(2016)『図説 日本の都市問題』. 古今書院

履修上の注意・学修支援

都市問題入門Ⅰ・Ⅱ双方を履修することが望ましい。また都市問題入門Ⅰ⇒Ⅱの順番で履修することを勧める。

本講義は講義形式ではあるが、学生には主体的な参加を期待したい。授業中に学生に対してできるだけ問いかけを行うよう努める。逆に学生に対しては感じたこと、疑問に思ったことがあれば講義中であつても発言を許可したい。